館山市広報

昭和35年 2月15日 第95号
編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1.087番地 電話館山67.68.701番 （毎月1回発行）

1月の人口動態

総人口	62.633人
男 29.923人 女 32.710人	
世帯数	14.017世帯
出生	90人（男42・女48）
死亡	52人（男26・女26）
婚姻	33件
離婚	0件
死産	4件

国保六年のあゆみ
約八千余世帯が利用

全国にさきがけて実施された本市の国民健康保険事業も、本年五月で満六年を迎えようとしております。そして、その利用もこの一月で被保険者世帯八千四十一、被保険者数三万五千八百十八人となつてその運営も順調な軌道に乗つてまいりました。ここに国保事業の利用状況をふりかえつてみますと、

◎昭和三十一年度

受診件数＝七万四千二百四十九件（入院二千二百五十六件、外来六万三千件、歯科診療八千九百六十五件、薬剤の支給二十八件）

その他（**接骨**）受診件数千百七十八件

医療費＝費用総額五千百四十四万七千八百八十三円（この内市負担額二千五百十万三十四円）

年間一人当りの受診件数約一、九回で、一人当りの医療費千三百四十二円

◎昭和三十二年度

受診件数＝八万五千三百四件（入院二千四百八十六件、外来七万二千五百十二件、歯科診療一万四百九十一件、薬剤の支給五件）

その他（**接骨**）受診件数千八十八件

医療費＝費用総額五千九百四十万二千五百六十六円（この内市負担額二千八百八十八万七千八百五十二円）

年間一人当りの受診件数約二、二回で、一人当りの医療費千五百九十二円

◎昭和三十三年度

受診件数＝八万一千二百四十一件（入院二千五百八十件、外来六万八千二百三十件、歯科診療一万四百二十五件、薬剤の支給六件）

その他（**接骨**）受診件数千五百五件

医療費＝費用総額六千三百五十六万六千円（この内市負担額三千九十四万四千円）

年間一人当りの受診件数約二、二回で、一人当りの医療費千七百二十六円になっております。

このように、保険の普及と共に、その利用も年々上昇しており、医療費も三十一年の五千百四十四万七千八百八十三円と、昨年度の三十三年とを比較しますと、千二百十一万八千百十七円と増えております。

また、保険料の賦課平均額も一世帯、年三千四百七十二円、一人平均七百六十七円になっておりますが、実際に一人当りの保険給付額は千七百二十六円で、市民皆さんから集める保険料総額よりも八百九十三万四千円も多く医療給付をしていることになっております。

その他保険給付としては各予防注射の実費負担、結核予防、ガン、高血圧の無料巡回相談などを実施しており、保険加入者の葬祭費（五百円）助産費（五百円）など、あらゆる面の保険事業を行っております。

なお、この保険料の収納状況も年々上昇しておりまして、三十一年度の八三、七％、三十二年度の九〇、六％、三十三年度の九一％となつて、発足当時いろいろな問題や困難が生じていた保険事業も、ここに順調に市民皆さんのお役に立つております。

喜びのお年寄り
年金証書 千三百余名交付

国民年金該当者として、すでに二千八百三名の申請を行いましたが、このうち、裁定がおわつて一月一ぱいで年金証書の交付を受けた方は千三百三十九名で、それぞれ渡された年金証書を手にして嬉しそうな、おじいさんおばあさん達でした。

こんど、この年金を受けた方は、老令福祉年金（年額一万二千円）が千百六十四名、障害福祉年金（年額一万八千円）百二十名母子福祉年金（年額子供一人の場合は一万二千円、一人増えるごとに二千四百円の加算率）五十五名になっております。

この年金は、三月に最初の四か月分（十一月、十二月、一月、二月）を指定の郵便局でお払いすることになっております。

なお、まだ請求手続をしていない方や、また新たに老令、身体障害、母子家庭となった方は、早めに市福祉事務所へ申して下さい。

ごらん下さい
固定資産の課税台帳

固定資産課税台帳の縦覧が市役所税務第一課（分館内）で、三月一日から二十日まで行われます。

今年は、昭和三十三年度の評価価格を基準にしておりますが、昭和三十四年中に土地の地目変換、国有地の払下げ、家屋の新築、改築、増築、損かいなどを行つた方、また償却資産についても、昭和三十五年一月一日現在の、新たな価格が決定されておりますから、このような異動があつた固定資産の所有者は、ぜひこの期間中に縦覧の上、不審の点がありましたら係員に申し出て下さい。

なお、異動のあつたもの以外は、審査の請求はできません。

〃火事〃は 六二一番
館山市消防署

世界農林業センサス
四千五百世帯が調査対象

二月一日から農業の国勢調査ともいうべき、一九六〇年世界農林業センサスの本調査が実施されています。

この世界農林業センサスは「経済統計に関する国際条約」によって、十年目ごとに行う事が定められており、今回は百余か国の国々が参加して行われる世界的な調査です。

そして、この調査は各国がお互いに比較し合い、農林業の生産を安定し発展させるための基礎資料として、国際連合に報告する義務があります。

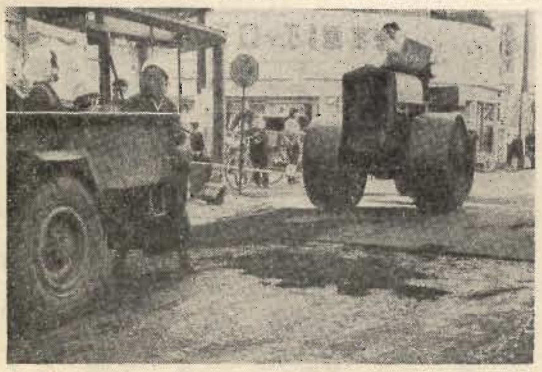
また、我が国で全部の農業や林業を調査するものは、この世界農林業センサスだけですから、このセンサスは単に国連の資料とするための統計だけでなく、次の農林業センサスが行われるまでの十年間、我が国の国政、とくに農政上に必要な基礎資料を作る大切な任務もあります。

この調査をうける世帯は農家と林家だけですが、農家の場合は、耕地面積が一反歩以上、または、この一年間の農業生産物の販売総額（収入）が二万円以上の世帯が調査対象になっております。

また、林家の方は、保有山林が一反歩以上の世帯が対象になります。

以上のようになっておりますが、この調査は、統計法による指定統計として行われるものですから調査をした結果を、他人に洩らしたり、また統計以外に使用することは絶対にできないことになっていますから、調査員がお訪ねしたときは、ありのままの事を教えて下さるようお願いいたします。

なお、調査の対象となられる方は、経営土地の種類別、面積、この一年間の肥料の施用量、農作物の収穫面積など、あらかじめ調べておいていただければ大変幸いです。



再舗装の館山駅前道路 交通量の多い駅前道路の再舗装工事を、20万7千円で長サ68米、道巾6.5米でアスフアルトの補修を行いました。

冬から春先にかけ
多い火災の発生数

全国の火災発生数を統計的にみますと、冬から春先にかけてもつとも多く発生しております。

これは、このシーズン中気圧の関係で風が強く、空気が非常に乾燥しているから、ちよつとした火でもすぐ燃えやすい状態になつているからです。

ですから、うつかり捨てたタバコの火やマッチの火から枯草に燃え移つて山火事などがすぐ起ります。

館山市でも、こうした原因で山火事を起したのが一月に三件、二月には八日現在ですでに四件も発生しております。

家屋内での炊事、暖房、お風呂の火、あるいは最近普及してきました電気器具の使用などにも注意することはもちろんでありますが、屋外での焚火、芝焼き、タバコなどには特に注意が必要です。多量の山焼き、芝焼きの場合は、事前に消防署に連絡して下さい。

なお、乾燥期である春先の火災予防運動として、二月二十八日から三月十二日まで、車両火災防止を重点に全国的な運動を展開することになっております。

届きましたか
＝入学の通知書＝

市教育委員会では、一月三十一日に入学指定通知書をそれぞれ保護者宛に発送いたしました。

通知書に書いてありますように、小学校の入学は四月一日午前十時、中学校の入学は四月二日午前十時になっております。

当日は、指定された学校へ、その通知書を持参して受付へお渡し下さい。そこで始めてお子様の入学が決定されることになります。

なお、身体検査を実施後住所を変更したため、入学通知書が届かなかつたり、戸籍上の身分などに変更があつた方は、早速市教育委員会（電話67、68）までご連絡下さい。

また、入学指定通知書を受けて、その受領書がまだ未提出の方は、市連絡員か市吏員に依頼して、ご提出下さい。

同封の「健康診断の事後措置について」は、健康なお子様には今後も適切な生活指導をしていただき、疾病のあるお子様はできるかぎり早く治療して下さるようにということでありますので、四月一日には、みんな元気に入学できるようお願いいたします。

幼稚園の園児募集

四月から幼稚園に入園する幼児の募集を、次のように行つております。

㈠**募集人員**

⑴北条幼稚園
一年保育＝約百名
二年保育＝約百五十名

⑵館山幼稚園
一年～二年保育を合せて約二百名

⑶那古幼稚園
一年保育＝約七十名

⑷船形幼稚園
一年保育＝約五十名

⑸神戸幼稚園
一年保育＝本、分園とも若干名
二年保育＝本園が約四十七名、分園が約十四名

⑹富崎幼稚園
一年保育＝若干名
二年保育＝約六十五名

なお、一年保育とは昭和二十九年四月二日から三十年四月一日生れの幼児二年保育とは昭和三十年四月二日から三十一年四月一日生れの幼児

㈡**入園の受付期間**
昭和三十五年二月一日から三月十五日まで

㈢**保育料**
保育料四百円のほかに諸経費若干

引揚者給付金の
請求が五月で時効

終戦当時、外地に六か月以上生活をしていた方達のための法律（引揚者給付金等支給法）にもとづいて、昭和三十二年からこの申請の事務取扱を行つてきましたが、本年五月十六日で、この法律が時効になりますので、まだ申請書を提出してない方は三月末までに、市役所福祉事務所に申請をして下さい。

なお、資料がそろわないために申請ができない方や、この法律に該当するか否かその判定に困難をしている方達などのために、次の日時に県係員の出張相談がありますので該当される方は、ぜひご相談下さい。

県係員の出張相談日
二月二十六日＝十時から三時まで市役所分館会議室

軍人軍属の恩給
請求は七月で時効

元軍人、軍属の普通恩給また戦没者遺族に支給される公務扶助料などの申請は、七月三十一日で時効となりますので、まだ手続をしていない方は至急行つて下さい。

市庁舎の
敷地整備工事

新市庁舎の完成を一、二か月後にむかえて、いま新庁舎内の敷地整備が四十八万七千円で着工されております。

この工事は、庁舎内の敷地二千平方米と、その廻りの土手、法留（のりどめ）石積工事、長サ二百三十一米を行つているもので、完成は三月下旬となつております。

見得をはらず無駄と無理のない明るい生活をいたしましよう

道路改良の完成
見物波左間港線

道路改良工事として、九月からすすめてきた市道の見物波左間港線は、失業対策事業として、工事費四十四万円で、長サ百十四米、道巾四米で、去る一月完成いたしました

三月天候予想
富崎測候所

上旬は移動性高気圧が南偏して本邦附近を通過するため、おだやかなよい天気が多いですが、中旬頃より北高南低型の気圧配置となり、曇や雨の日が多いでしよう。

気温は上旬は高いが、中旬は数日低い日がありましよう。

降水量は並か、やゝ多いでしよう。

富崎における平年値

気温（摂氏）	三月上旬	八・一
〃	〃中旬	九・四
〃	〃下旬	一〇・四
降水量（ミリ）	上旬	四五・六
〃	中旬	五一・三
〃	下旬	六一・一
日照（時間）	上旬	五一・七
〃	中旬	五九・六
〃	下旬	六五・七

のびのびとした指導　無理な勉強はさけたい

新入学を迎え

四月の新入学期が迫つてきました今年小学校へ入学するお子さんのいる家庭では、喜びとともにいろいろの心配も多いことと存じます。

では、はじめて小学校へあがるお子さんが、元気で楽しく、学校生活を送るためにはどんな準備が必要でしょうか。

あたたかい家庭の中の気ままな生活から、わがままの許されない学校生活へ、それは、子供達にとつてかなりの負担です。この点をまずお考えになつて、こまかい注意であたたかく子供達のまわりを包んでやりたいものです。

▼子供達の心の準備

子供達は、学校にあがることを喜び、誇りに思つています。この気持を素直にのばし、学校生活の楽しさを話してやつたりして、いたずらに不安な気持を持たせない心づかいが大切です。

▼物についての準備

こまかいことは学校からお話がありますが、

(1)まず自分の持物には平がなで名前を書き、はつきり覚えさせておきましよう。

(2)ぜいたくな物はやめて丈夫で実用的な物をえらばせましよう。

(3)寝る前には、あすの準備をする習慣をつけさせましよう。

(4)置くところをきめて整頓させるよう注意しましよう。

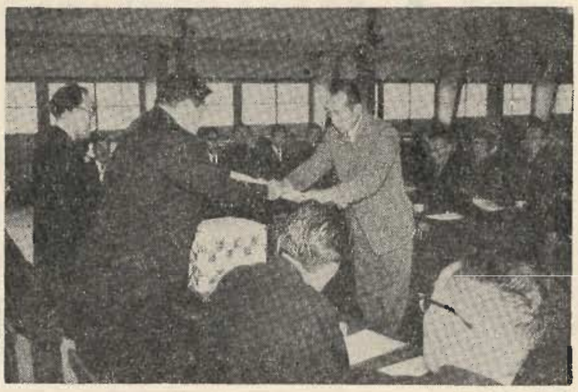
▼くらしについての準備

(1)一人でも通学できるように、学校へも何回か連れてゆき、途中の十字路その他危険なところはよく注意しておきましよう

(2)一人で身じたくや用便ができるように習慣づけましよう。

感謝状が贈られた

30名の退職民生委員



今回民生、児童委員の改選によつて退職された次の方達に対し県知事、市長から感謝状及び記念品がそれぞれ贈られましたこれらの方達は、困る人達の立場になつて、長年献身的な面倒をみてこられた方達ばかりで、長い方になると二十三年以上も一筋に勤続されて来た方もおり、めだたない市行政の下積の仕事に努力された。この人達に対しここにあらためて感謝申し上げたいと存じます。

石井隆厳（南条）石井透（真倉）斉藤貞司（大井）小栗庄治（犬石）川名竹松（新井）大島りう（東）田辺馬之助（笠名）鈴木芳太郎（上須賀）池田公憲（洲崎）林邦美（広瀬）吉田和寿（布良）木村久（布良）高橋理紀（宮城）江島久恵（上須賀）長房たけ（鶴谷）長東七郎（六軒町）醍醐篤（仲宿）山崎常子（西の浜）松本くに（西）太田稲三郎（塩見）安西金次（根岸）寺田喜一（藤原）三平きく（上須賀）鈴木恭太郎（六軒町）保科忠夫（長須賀）石崎保（上野原）鈴木久栄（見物）鈴木志ま（大戸）小柴寿子（竹原）鈴木髙四（薗）

暖房をした……　室内の湿度に注意

我々日常生活に一番快適な湿度は、摂氏十五度から十八度位ですが、湿度はどのくらいが適当だらうか。湿度は三〇%から七〇%位の間がよいといわれているが、冬の間の一日の平均湿度は、館山で六〇%位で一日の変化は日中の最も乾燥した時が三〇～四〇%位、日の出前後の最も湿つたときが七〇%位である。

従つて自然のまゝであれば、冬の空気はまず〱適当な湿度といえます。

しかし暖房している部屋の空気は、非常にかわきやすいもので、かわき過ぎると呼吸器系統の病気の原因となつたり、家具や建具がくるつたりして、不都合が生じる。

ストーブをたいている部屋の中で、湿度を計つてみると、一日のうちでは二〇%から五〇%くらいの間で変化しているのが普通で、一日に平均すると三〇～三五%程度となる。これは、さばく地方と同じくらいの乾燥した所で生活していることになる。

従つてストーブをたいたり、火ばちを入れたりする場合は、必ず水を入れた容器を備えるなどして、室内に蒸気をたてる工夫をしなければならない。

（富崎測候所）

稲作の増収計画は

保温苗代で早期栽培

五年連続の豊作が続いておりますこれは稲作後期の天気が良かつたからですが、そのほかに稲作技術の進歩、特に品種改良・肥料・農業及び農機具などの改善も大きな役割をはたしております。

房州地方は、三十三年頃から収量が減つてきているといわれていますが、どこにその原因があるかつきつめてみると、収穫の順序が早期栽培・早植普通植となつていますから、房州地方にすくない早期栽培を今後主としなければ、今後ついてゆけなくなつてきているのではないかと思われます。

したがつて、今年は裏作利用田を除いた、ほとんどを保温苗代で早期栽培されることをおすすめしたいと思います。

早期栽培には、経営上の労力の問題、囲りの裏作からくる水利関係・雀の害・知識技術などのいろいろの問題がありますがこれらのことは、よく話し合つて、解決できるところから実行にうつして行つてもらいたいと思います。

㈠品種の選定＝八月中旬頃収穫するもの豊年早生農林一号、九月上旬収穫するものギンマサリ・ヤチコガネ・農林四一・たかね錦・コシヒカリ・九月中旬収穫するもの農林二九・キヨスミ・近畿三三。

㈡育苗・田植の時期＝保温苗代で育苗し、田植は五月中旬頃。

㈢苗代肥料＝低温期であるので、速効性の硫安・過石・塩加を元肥として施します。

㈣本田施肥＝普通植より二割増しぐらいとし、無硫酸根肥料をすすめたい。そして元肥は多目にし、追肥はすくなめにして遅れないように。生育中、肥料切れが生じないのが増収のこつとまでいわれております。

㈤植付＝二～三本位で三・三平方米（坪）六〇～七〇株位で、長方形の植方がよいようです。

㈥水利＝早期栽培地帯というような特定を設け、その地帯は同一の熟期品種を作れば、水はむだなく利用できます。

伝統の寒中水泳

一月二十一日、市主催で行われた恒例の寒中水泳は、市内五ツの高等学校三七〇名の参加のもとに寒風肌を刺すなかを北条海岸で行われました

この寒中水泳は、大正七年に安房中学（いまの一高）が行つてから現在に続いているもので昭和二十三年には皇太子殿下もご覧になり今では全国的にも知られている。

農業メモ

小作地の解約などについて

水田の耕作時期が近づいてきました。毎年二月頃より四月頃までの期間に売買、小作地の解約などが、もつとも移動の多い時期です。それは、各家庭の人の増減、労力の増減などいろいろなことがこの時期にぶつかるからではないかと思われます売買については、先月の広報で述べた通りですから省略しますが、今月は解約の事について若干述べてみたいと思います。

小作地の契約の解除（一方的）解約（合意）はすべて県知事の許可が必要であることはご承知の通りであります。

借受人が労力不足、あるいはいろいろな都合で返還を申し出るような場合は問題ではないのですが貸付人の方で、家族の増員、労力の増加、あるいは借受人の方が米の売渡数量が多いからなどの、一方的理由によつて取上を強行しようとしても、許可されない事は当然であります。又小作料や公定では安すぎる、自分の土地を自分で作れない、そんな馬鹿な話は無いなどの言葉を聞くこともありますがそれは論外というべきでしよう。

しかし、一方的に取上出来る場合もあります。それは小作料を滞納する、勝手に地目を変換する、荒して置く、相談もせず又貸しするなどのような場合などです。

要するに、お互が信頼の上に立つて処理するという事がいかなる場合でも大切であるわけです。

次に、小作契約をしている場合の期限の定めがある問題ですが、期限がきましたら貸付者は無条件で返還されるものと解釈している方も多いようですが、必ずしも期限に拘泥されません。借受人が正当な賃借扱に基いて耕作している場合は、解約は困難と思われます。

なお、土地改良が行われた農地の小作契約についてでありますが、この工事費をどちらが負担したかという事によつて契約条件が変更されなければいけないと考えられます各地区とも、土地改良が行われつゝありますのでなんらかの手段がとられることゝなりましよう。

次に、小作料の問題ですが、小作料は金納であつて、物納は禁ぜられております。その額は算定基準に基いて定められております。

36万円贈る

助け合い運動

恵まれない人たちが、少しでも明るい正月を迎えられるようにと、昨年十二月の一か月間にわたつて行われた「才末助け合い運動」は、市民皆さんの深いご理解によつて、現金三十六万二千六百三十四円（内訳＝市内一般寄附金二十六万八千五百十七円、特別寄附三万七千五百六十七円、県共同募金会の配分金五万六千五百五十円）その他衣類毛布砂糖など多数の物品のご寄附がありました。

これらの金品は、早速市内の生活に困つている四百七十九世帯の方々、及び小中学校の困窮児童、老人ホームの方にそれぞれ贈られ、深く感謝されました。

ここに皆さまのご協力を厚くお礼申し上げます。

ためない税金
今月の税金
固定資産税
第4期
納期…2月29日まで
ためる貯金

新入荷図書案内　市立図書館

新購入図書案内　館山市図書館

分類	書名	著訳編者
総記	フランス文学毎日ライブラリー	佐藤輝夫
〃	自然科学の名著	湯浅光朝
〃	探検・発掘の記録　現代教養全集　十七	臼井吉見
〃	東金市誌	東金市教育委員会
哲学宗教	過度期の意識	梅本克己
歴史地誌	日本の歴史第十二巻　世界と日本	岡田章雄　他二氏
社会科学	日本民族学大系　全十三巻	下中邦彦
〃	日本残酷物語　第二部　忘れられた土地	〃
〃	日本教育年鑑　一九六〇年版	新井恒易
〃	日本文化史	家永三郎
〃	スパイ入門　グレアム・グリーン　ヒュー・グリーン共編	北村太郎訳
〃	会社年鑑　一九六〇	田口良一郎
〃	教育と経済	長洲一二
自然科学	数学入門	遠山啓
産業	小庭の造り方　地割本位	上原敬二
〃	庭石と石組	〃
〃	飛石・手水鉢	〃
〃	石灯籠・層塔	〃
〃	井戸・滝・池泉	〃
〃	芝生と芝庭	〃
〃	盆才の作り方	野崎信夫
〃	草花花木繁殖の技術	西田一芦
〃	花もの実もの盆栽	野崎信夫
〃	盆才の新研究	丹沢美助　他一
芸術	日本の陶磁器	林屋晴三
〃	建築	伊藤延男
〃	彫刻	金子良運
〃	絵画	中村渓男
〃	美術	河北倫明
〃	ぼくの野球コーチ	川上哲治
語学	新送りがな便覧	精文館編集部
〃	新和英大辞典　研究社	勝俣銓吉郎
〃	コンサイス仏和辞典	丸山順太郎　川本茂雄　共編
文学	鏡子の家　第一部	三島由紀夫
〃	娼婦の部屋	吉行淳之助
〃	ぼんち　上下巻	山崎豊子
〃	海辺の光景	安岡章太郎
〃	人間の条件　一、二、三、四、五、六	五味川純平
〃	ゼロの焦点	松本清張
〃	バナナ	獅子文六
〃	新刑事物語	樫原一郎
〃	中野学校	石川敦
〃	盗賊論	神山圭介
〃	ゲーテ集　第七巻　親和力　若きウエルテルの悩み	前田恵作　望月市恵　共訳
〃	白い肌と黄色い隊長	菊地政男
〃	処刑前夜　死刑囚のうたえる	北山河　北さとり　編

寄贈図書案内　館山市図書館

分類	書名	寄贈者
歴史地誌	房総指定文化財地図	千葉県教育委員会
産業	紅「伊せ半百七十年史」	沢田亀之助
芸術	富士コンテスト記念作品集一、二　五九	富士フイルムKK